

たかねざわ 農委情報

令和8年3月
第139号
 編集・発行
 高根沢町農業委員会
 高根沢町大字石末2053
 TEL 675-8108



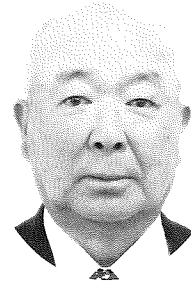
視察研修（群馬県）の様子

農地等の諸申請
 (売買・交換・贈与・貸借・転用等)は
毎月10日〆切
 (10日が休日の場合は、前開庁日)

——— 主 な 内 容 ———

- 農業委員会会長よりご挨拶 P2
- 視察研修に行ってきました P3
- 女性農業委員として地域と向き合う・農業委員会でコシヒカリを寄付しました P4
- 農業委員会が表彰を受けました・農地パトロールを実施しました P5
- 就農しました!・農業委員会活動報告 P6

ごあいさつ



高根沢町農業委員会会長

野中照雄



最適化、新規参入の促進に関する活動を継続して食糧生産の基盤である農地を守り発展させてまいります。農業者の皆様、今後とも農業委員会活動へのご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

一昨年の令和のコメ騒動から、米価の上昇と農業を取り巻く環境は劇的に変化しました。コメ生産量の増減も価格の上昇も農家の意図とは関係なく、気候変動とそれに関わる流通業者によるところが関係し、農家はコメの価格が上がったことによる想像以上の収入に驚いているところ

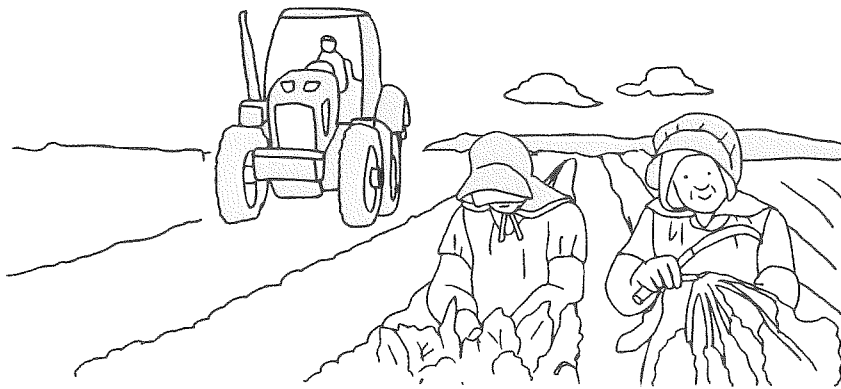
せめて10年先まで骨格が変わらないような、農家に寄り添った柔軟な対応ができるものを期待します。

です。団塊世代の農業からの引退のみならず、低価格に起因する離農者がいたことも事実であり、米価の乱高下は農業経営の不安定化につながります。生産者の利益とは真逆に、消費者のコメ離れも起きかねません。農は国の基、日本人の主食です。米価と農業経営の安定には消費者も納得する価格となるような国の農業政策に期待するほかありません。

さて、町内16地域における今後10年間の農業のあるべき姿を描いた「地域計画」が策定されました。農業委員会は地域計画の実現に向けて、農地所有者や耕作者等の意向の把握、協議の場での取り組みへの協力などを重ねながら、地域計画の策定主体である町との連携を図りたいと考えております。

本年は、新たに2027年度からの水田政策の骨子案作りとのこと、

高齢化と担い手不足で利用されない農地が増加する恐れは以前から指摘されています。このような農地に関する諸問題の対応など、農業委員会の課題は山積していますが、本来の役割である農地法等の法令に基づく権利移動の許可、農地転用案件への意見の具申、また農地等の利用の



農地のお困りごとは 農業委員会へ

◇ 農業委員(議席順)

会長 野中 照雄

会長職務代理者 佐藤 正一

委員 西形 政之

見目 崇

上杉 奈々江

増淵 富士子

水沼 喜代子

斎藤 浩実

◇ 農地利用最適化推進委員

(区番等順)

委員 大塚 典男

見目 智史

齋藤 和宏

小川 修一

小堀 秀一

石塚 尚美

加藤 孝

小松 郁夫

古口 善郎

小林 繁

富田 満

吉澤 政男

野中 瑞晃

横塚 一美

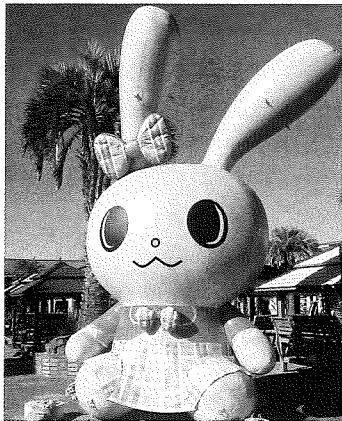
菊地 修一

小池 精一

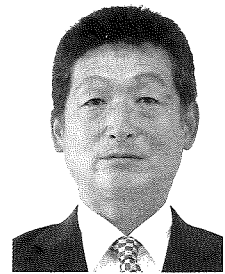
加藤 清也

視察研修に 行ってきました！

令和7年12月18日（木）、農業委員・農地利用最適化推進委員・事務局職員計13名で群馬県に研修へ行きました。甘楽町にあるこんにやくパークに見学をしたあと、玉村町で農事組合法人南玉と株式会社NORINAから乾田直播についての講話を受けました。参加した小松郁夫推進委員から感想を書いていただきました。



『視察研修へ参加して』



農地利用最適化委員
推進委員
小松 郁夫

12月18日、群馬県への視察研修に参加しました。まず、甘楽町にある「こんにやくパーク」を見学しました。群馬県はこんにやくの生産日本で、全国シェアの90%を占めているそうです。工場では、ガラス越しに板こんにやくやゼリー、しらすたきの製造工程を見学することができ、また、パネル展示でこんにやくの栽培方法や歴史などについて学ぶことができました。味噌田楽やこんにやくラーメンなど、多彩なメニューを楽しむことができる無料バイキングは、こんにやくの消費拡大に向けてのさまざまな研究や努力の賜物であることを感じました。

次に、玉村町で、農事組合法人南玉が行っている節水型乾田直播について話を伺いました。この法人は、2023年から乾田直播に取り組み始め、現在は22ヘクタールのうち、8.5ヘクタールで実施しているそうです。乾田直播で育てた米の収量は田植えをしたものに比べて8割ほどですが、直接圃場に種子を落とす

すだけなので、苗づくり＋田植えの手間が省け、作業時間が大幅に減少するため、今後人手不足の農家の助けとなるものと期待されます。乾田直播を始めた最初の年は雑草に覆われ、米が実らなかつた圃場もありましたが、種もみに「菌根菌」をまぶしたり、除草剤をまくタイミングを工夫することで、少しずつノウハウが積み上がっているとのことでした。また、南玉に資材を供給している株式会社NORINA様から、乾田直播に使われたバイオステイミュラント資材についての説明を受けました。今後の水稻栽培に活用できるか検討したいと思います。



女性農業委員として

地域と向き合う



農業委員
上杉奈々江



農業委員の活動は、人と農地を結ぶ役割がありますが、正直、私自身その実感を十分に持てていません。農業委員になるまでは活動内容を知りませんでしたし、今も学びながら関わっている途中です。1人でも多くの人たちに知っていただき、農地の困りごとなどを少しでも解決へと結びつけたらと思います。

県内の女性農業委員らが集まる研修・交流会があり、人と人とのつながりは特別な出来事から生まれるのではなく、日々の小さな関わり積み重ねなのだと感じました。

高根沢町は農地が身近にある一方で、農業と暮らしの距離は、近いようで実は離れていると感じる場面もあります。「たんたん田んぼの高根沢」らしさ、献上米である「とちぎの星」の知名度向上についても改めて考えていく必要があると感じています。そのためには、次の世代に農業や食の大切さを伝えていくことも欠かせないと感じています。そのなかで、高根沢町の女性農業委員は、

女性農業士の方々の協力のもと、小学校での食農教育として紙芝居を行っています。子供たちの「知らないこと」を知ることから始まる場合もあるのだと気づき、農業を暮らしに結び直す大切な一歩だと感じています。

農業委員の活動がまだ十分に知られていない今、気軽に声かけてもらえ、頼ってもらえる農業委員でありたいと考えています。また、今後女性農業委員や女性の農地利用最適化推進委員が増えることを目指したいと思います。

女性農業委員の活躍として地域の活動以外にも、年に一度、関東ブロックの女性農業委員らが集まり研修会も行っています。

(写真は令和7年10月23日(木)、関東ブロック女性農業委員等研修会の様子)



農業委員会で コシヒカリを 寄付しました

令和7年12月24日(水)、社会福祉法人高根沢町社会協議会内で開設されている「フードバンクたかねざわ」に農業委員会でコシヒカリ300kgを寄付しました。

農業委員会有志、フードバンクたかねざわを通して高根沢の美味しいお米をおなかいっぱい食べて笑顔になってもらいたいと思っております。



農業委員会が表彰を受けました



表彰状を持った野中会長(左)と佐藤会長職務代理(右)

令和6年度の実績において高根沢町農業委員会が2つの表彰を受けました。

全国農業新聞普及優秀農業委員会 優良賞

農業者年金加入推進 優良賞

今後も 普及活動 と 加入推進活動 を積極的に
行っています！

〈全国農業新聞とは?〉

1週間の農政の動きや現場で役立つ栽培技術・流通の情報、魅力的な農家の取り組みなどを幅広く伝え、担い手の皆様の経営発展に役立つ新聞です。農業委員会で随時購読受付を行っています。

週刊誌：毎週金曜日発刊 月額700円 ※令和8年4月より月額900円に変更

〈農業者年金とは?〉

農家のための年金制度。農業従事日数60日、国民年金第1号被保険者、65歳未満であれば農地を所有していなくても加入することができます。月額2万円～6万7千円の間で自由に保険料を決めることができ、支払った保険料は全額社会保険料控除になります。また、若年層には保険料の国庫補助制度もあります。(所定の要件有)

全国農業新聞と農業者年金に関してのお問い合わせ先
高根沢町農業委員会事務局：TEL 028-675-8108



農地パトロールを実施しました!

令和7年8月21日(木)に農業委員・農地利用最適化推進委員による農地パトロール(農地利用意向調査)を実施しました。調査の結果をもとに、荒廃農地となってしまう農地の地権者には状況改善のための通知を順次送付しております。ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。また、農地所有者の方は近隣農地や住宅へ影響を与えないよう、草刈り等農地の適正管理をお願いいたします。



就農しました!

黒川 裕也さん(31)〔石末〕

営農類型: 水稲・ネギ



★就農したきっかけは?

転職を考えていた時期に農作業ドローンの作業補助を頼まれたのをきっかけに農業に興味を持ちました。そこから先輩農家さんの手伝いをしながら技術を習得し、令和6年から就農しました。

★農業を始めて良かった点は?

これまで農業に携わったことがありませんでしたが、自分が就農するにあたっていろんな方が機械や農地を貸してくれました。地域の人たちに助けてもらいました。

★これからの目標・意気込み等は?

まずは経営の地盤を固めるために規模拡大を目標にしています。将来的にはネギを通年耕作できるような環境を整えていく予定です。規模拡大していくなかでも作物を丁寧に作っていくという気持ちは忘れないようにしたいです。

農業委員会活動報告

― 9月～2月 ―

〔9月〕

◆ 9月2日(火)

令和7年度農業委員・農地利用最適化推進委員研修会 (宇都宮市)

◆ 9月16日(火)

申請地現地調査

◆ 9月22日(月)

農業委員会定例総会・全協

〔10月〕

◆ 10月8日(水)

令和8年度農地等利用最適化推進に関する意見及び農業等施策並びに予算に関する要請会

◆ 10月15日(水)

申請地現地調査

◆ 10月16日(木)

とちぎ女性農業委員の会 第1回研修会 (宇都宮市)

◆ 10月20日(月)

農業委員会定例総会・全協 第3回広報委員会

◆ 10月23日(木)

令和7年度関東ブロック女性農業委員等研修会 (千葉県)

〔11月〕

◆ 11月14日(金)

申請地現地調査

〔12月〕

◆ 11月20日(木)

農業委員会定例総会・全協

◆ 12月16日(火)

申請地現地調査

◆ 12月17日(水)

とちぎ女性農業委員の会 第17回通常総会・全体交流会 (宇都宮市)

◆ 12月18日(木)

農業委員会研修会

◆ 12月22日(月)

農業委員会定例総会・全協 第4回広報委員会

〔1月〕

◆ 1月14日(水)

申請地現地調査

◆ 1月20日(火)

農業委員会定例総会・全協

〔2月〕

◆ 2月10日(火)

第2回市町農業委員会会長・事務局長会議 (宇都宮市)

◆ 2月20日(金)

農業委員会定例総会・全協

おくやみ

平石淳一(農業委員(3期))と仲山一三(農地利用最適化推進委員(1期))がご逝去されました。

心よりお悔やみ申し上げます。

くらしと経営に生きる情報をお伝えます!

全国農業新聞

毎週金曜日発行
購読料: 月700円

お申し込みは農業委員会
TEL 675-8108まで



春の訪れとともに農家は繁忙期を迎えます。農地をフルに有効活用し緑豊かな美しい風景となるよう心掛けましょう。昨年末は視察研修やフードバンクへの協力などを行い充実した農業委員会活動となりました。活動報告をする都合、今回号は1月号から3月号へ発行時期が変更となりました。皆様のご理解をよろしくお願いいたします。

農委情報編集委員

- | | | | | | | | |
|------|-----|------|------|------|------|-------|-------|
| 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 委員長 |
| 加藤清也 | 富田満 | 齋藤和宏 | 野中照雄 | 斎藤浩実 | 佐藤正一 | 水沼喜代子 | 増淵富士子 |